



山本 良一

環境技術革新を引き起こし、それを測定し、普及させる。

エコフィシエンシーとエコデザイン技術特別研究会 RC-17

1. 幹事

山本良一（東京大学 生産技術研究所 教授）
 小田克郎（東京大学 生産技術研究所 助教授）
 鈴木淳史（横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授）
 中原秀樹（武蔵工業大学 環境情報学部 教授）
 益田文和（東京造形大学 教授）
 木俣信行（鳥取環境大学 教授）
 足立直樹（株式会社CSR経営研究所 取締役）

連絡先

山本良一
 Tel : 03-5452-6303
 Fax : 03-5452-6305
 e-mail : yamamoto@iis.u-tokyo.ac.jp

2. 主旨

本研究会は「環境に配慮した新しい物作りと持続可能経営」を環境効率（Eco-efficiency）とエコデザイン（Eco-design）の見地から徹底的に考察する研究会として1999年に発足し、略称を**SPEED**（Special Project on Eco-Efficiency and Eco-Design）としております。2005年は53社の御参加を頂きました。

2005年度は昨年の箱根研究会の成果を日科技連出版より「サステナブル経済のビジョンと戦略」という書として出版致しました。また、6月には“ポスト京都議定書の戦略環境経営と新しい環境生活文化の創造”というテーマで、箱根ハイランドホテルで研究会を開催し、76名の参加者があり盛況でした。本会の目指すところはエコマテリアル、エコプロダクツ、エコサービスの社会への大量普及を主軸とする“環境経済”により産業・経済のグリーン化を達成しようとするものです。またわが国の“製品と経営”のエコブランド化をはかり、その国際競争力を向上させ、同時に環境技術によって国際貢献しようとするものであります。

そこで2006年度は以下の研究を行うことを目的とします。

- (1) **製品・サービスシステム／エコサービス（製品販売から機能・結果販売へ）**について、詳細な調査を行ない、その概念の発展と普及について議論する。
- (2) **エコデザイン**についての様々な手法を、持続的価値創造のためにどのように利用していくのかについて議論を深める。また製品・サービスの環境性能をどのように評価し、表現し、普及するかについて議論する。
- (3) **CSRの概念、手法**の発展について議論すると共に、**環境適合設計**と**社会適合設計**のベストプラクティスについて調査・研究を行なう。
- (4) エコプロダクツ、エコサービスの提供による新しい環境生活文化の具体像を探る。

3. その他

年会費 : 20万円

定員 : 2～3名／社

運用方法 : (1) 年5回程度の定例研究会を中心にして、上記の4課題について討論し、成果を様々な形で取りまとめ公表する。

(2) 定例会の他に箱根で合宿形式の**短期集中勉強会**を開催する。